

SHIN CLUB 110

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

est 撮影：ナカサアンドパートナーズ

階段

今回ご紹介する西中延の集合住宅<est>は、賃貸2フロア、オーナー邸がその上部に3フロアという併用住宅です。商店街に面した町家のように細長い敷地です。設計の桑原聡氏は、ミニマムな空間に大きな割合を占めることになった階段を、建物中央にしっかりと配置し印象的な空間にデザインしました。階段室の吹き抜け上部から、自然光と間接照明がミックスされたやわらかい光が下階まで降り注ぎます。

「コンパクトな空間でも階段は日々使う場所。普通のマンションの寂しい階段にしたくなかった」と桑原氏は言います。都市の中にあるマンションやビルの共有スペースの階段は、桑原氏の言うとおり、殺風景な空間が少なくありません。防火扉で仕切られた、暗く狭く物騒な階段や細い手すりですっきりすると落ちそうな鉄骨の外階段。建物の垂直移動の主役はエレベーターに取って代わられ、階段は避難のために最低限設置しなくてはならない存在となり、持ち主も住まい手もあいまいになった古い雑居ビルなどでは、モノが置かれていたり、安全性からも危険な場所になっていたりもします。

しかし、住居という個人的なスペースから、外部へ連なる中間スペースとして、階段は移動の機能だけでなく、住まう人と人とのコミュニケーションを生み出したり、光や空気、視線の変化を段階的に感じられたりする機能も持ち合わせています。また住居

内の居室とは違って、簡単にリフォームやメンテナンスを行うものではなく、竣工後、当初の形を長いこと維持し続けることになる構造物です。

それだけに、都市に点在するマンションやビルの中で、もっとそのデザインが見直されてもいいのではないのでしょうか。もちろん、子供やお年寄り、障害を持つ方など、身体的にハンディのある人にとってはありがたい存在ではあるかもしれませんが、エレベーターのなかった学校では、階段の踊り場は楽しい場所でした。例え高層ビルに入っている事務所・会社でも、省エネの観点から「1-2階の移動にエレベーターは使わないように」と従業員は求められているはずです。いつも使っている階段の上り下りがなんだかきつい、と思われるときは運動不足の証拠。街中ではエレベーターやエスカレーターを利用することがほとんどですが、階段は使う人の身体と密接に関わり、まだまだ暮らしに影響を与える可能性が残されています。

弊社で施工させていただいた建物の階段は、それぞれデザイン性が高く、こだわりのあるものが多いようです。それは、設計者が建て主であるお客様と十分にコミュニケーションを取って計画しているものが多く、そのオーダー品にお客様自身が住まうことが決まっているからでしょう。せっかく設計された建物本来の意味が放棄されて、ただの箱になってしまうことが都市の中では何よりも避けたいことなのかもしれません。

西中延の集合住宅 est

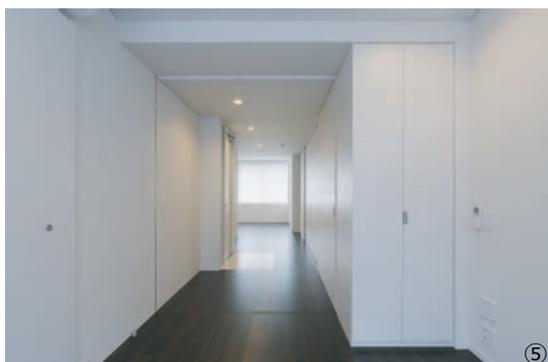
機能美あふれる階段を持つ集合住宅

東急池上線荏原中延駅から徒歩3分、昭和通り商店街に面して、昭和37年から平成20年まで45年間、この地で精肉店を営んできた施主が、事業用に行った集合住宅への建替え工事である。周辺は、現在、商店を閉鎖して集合住宅への建替えが進む地域である。

ここでは、間口約3間×奥行約9間に細分化された既存の町並みにはまる集合住宅のあり方を検討した。前面道路に接する北面と、その反対側の南面が採光面として限定的である。そこで、居室と水廻り全てを主開口面に面させるトンネル型の居室構成をとった。逆にエレベーター、階段はできるだけコンパクトに中央敷地境に配置した。

「階段」の存在は、このような狭小地の建物にとっては、とかく無駄で厄介な存在であると思われるがちである。面積参入されないというメリットがさらにそうした考え方に拍車をかけている気がする。しかしながら、今回は、薄いスチールプレートに拠る軽やかな段坂と、その隙間からこぼれる天窓からの光と間接照明をブレンドした明かりにより、この小さくて大きな空間が美しく精緻な空間となるよう、最大の注意を払ってデザインした。

(桑原聡氏談)



構造：RC造
 規模：地上6階
 用途：共同住宅
 設計：桑原聡
 / 桑原聡建築研究所
 構造設計：我伊野構造設計室
 設備設計：オーム設計
 弊社施工担当：中川、松沢
 竣工：2008年12月
 撮影：ナカサアンドパートナーズ

①1階中央の階段室②正面エントランスはピロティのたたきに玉砂利を配し、化粧型枠によるコンクリート打ち放しの壁も表情豊かである③3階オーナー邸LDK。床はタイル仕上げ。2本脚で1800×1200のオーバル型テーブルは、桑原氏のオリジナル家具。アルミとのハイブリッドによりウォルナット無垢材でありながら22ミリの薄さで仕上げている④4階浴室、洗面所⑤2-3階賃貸部分は、部屋の仕切りとしてだけでなくトイレ・浴室なども引き戸で隠すことができる⑥賃貸部分キッチン。大きめでデザイン性の高いキッチンで近隣の物件との差別化を図る

TOPICS/INFORMATION

「平成21年度辰カンパニー安全大会開催」 2009年4月10日 会場：渋谷こどもの城9階

4月10日、辰カンパニー全社員（41名）と協力業者の皆様（94社）が一堂に介して、工事現場の安全運営を確かめ合う、恒例の「安全大会」が行われました。協力会会長挨拶に始まり、昨年度の活動報告、事故報告、会計報告などが行われ、新年度役員が決定しました。（敬称略）



①安全協力業者表彰・手前から、嶋田工務店、吉田工務店、テクノ・ナミケンの皆様
 ②安全宣言は、嶋田工務店岡本部長にお願ひしました

会長：小関邦昭 (株)小関工務店 取締役営業部長
 副会長：佐藤大 (株)小松川代表取締役
 会計：金澤和夫 (株)協力電業社代表取締役
 監査：大熊潤一 大熊鉄筋(株)代表取締役
 幹事：早田勇 富士スチール(株)
 顧問：富岡陸男 (株)トミヨシ商会代表取締役

また、各種表彰は次の通りです。

- ①安全協力業者：
嶋田工務店、吉田工務店、テクノ・ナミケン
- ②安全作業所：
三宿1丁目ビル新築工事、渋谷本町ⅡPJ新築工事
- ③安全スローガンは社員と協力業者の皆様から108点の応募があり、入選12点のほか、最優秀賞として下記の作品が選ばれました。

「毎日の慣れた作業に落とし穴、基本に戻って安全作業」
 (辰カンパニー：讃井)

年間スローガンとして、各作業所で通年掲示するほか、さらに12の入選スローガンを月ごとの安全標語として実施してまいります。各現場の安全パトロールや重点活動に一層のご協力をお願い致します。

アクリル加工を自社デザインで

TOM PRODUCTS プロデューサー／友成富美

丸善丸の内本店開店記念万年筆パッケージ



Fumi Tomonari

友成工芸（ともなりこうげい）は、世田谷区で 50 年続くアクリルの板加工を主体としたメーカーです。先代より会社を引き継いだ友成哲郎社長とともに経営に参画し、自社デザインレーベル「TOM PRODUCTS」を立ち上げた、奥様の友成富美氏にお話を伺います。

—もともと、プロ用スケールメーカーとしてスタートした会社だそうですね。

友成：ええ、先代はプロ用の定規、例えば建築用のドラフター定規や高速道路の設計に必要なクロソイド曲線を描く定規を製作するメーカーでした。ところが 10 年ほど前、設計の世界は完全に CAD に移行して、手描きの定規の需要は大幅に減少しました。引き継ぐことになった私たちは、工場部品と、ディスプレイ商品の二者選択を迫られ、将来的に大幅な設備投資が必要な部品ではなくディスプレイ商品の方向に進むことにしたのです。

まず化粧品メーカーの什器製作の仕事をお願いしたのですが、デザイン、試作にとっても時間がかかって、こちらの製作納期が非常に短く、徹夜で余裕のない状態が続き、これではやっていられないと思うようになりました。ところが次第に製作サイドとして提案をしてほしいという申し出がくるようになり、7 年前に「TOM PRODUCTS」というデザインと製作を一括して受注するレーベルを立ち上げたのです。先代のときは大手メーカーの完全下請けで、不況になればコストダウンの要請が繰り返され、技術力が付く反面、どうしのぐかが課題でした。でも当時は「クロソイド定規」というオリジナル製品があったんですね。ですから自分たちも何か「オリジナル」なものを生み出さなければ、という思いが強かったですね。

当時、工場には早稲田大学や桑沢デザイン出身の学生が大勢出入りしていた。アルバイトの間に機械の使い方を友成社長に教わり、自分たちの卒業や就職のための模型や家具を作っていた若者たちの力を借りて、友成夫妻は新しいレーベルを立ち上げた。設立時のメンバーは全員、早稲田大学建築学科の出身者。「建築に比べて小さな世界ですが、ものづくりの魅力ではやりがいのある仕事だったでしょう」と富美さんは語る。写真にこだわり、デザイン

「デザインと製造の融合で

アクリル樹脂加工の新しい価値を創造します」

友成富美

神奈川県生まれ
青山学院大学経営学部卒業
料理研究家三枝政代のアシスタントのかたわら料理教室主催
1998 年 友成プラスチック工芸、取締役役に就任し経営に参画
2003 年 「TOM PRODUCTS」デザインレーベルを立ち上げ、様々な企画・製作業務を展開
2004 年 デザイナーズブロックにて HOTARUBI プロジェクトをスタート

女性ならではの感性を活かしたプロデュースを行うことを得意とする。
「All About スタイルストア」づくり手ブログ掲載中。



撮影：アック東京

性の高いホームページの効果も大きかった。50 社だった顧客は、10 年で 1000 社に増えた。

友成：私はもともと経理が本職です。30 代後半までは、自宅で料理教室を開いたり、料理の先生の助手を 9 年間務めたり、まったく関係のない世界にいました。そのときご縁ができた女性のネットワークが、今生きています。例えば銀座の老舗用品店の奥様がお客様を紹介して下さいたり、お客様からいろんな提案をいただいたりして、どうしたらいいか所懸命考えるんです。アクリルの加工技術はわからないけれど、形のあるものを人に伝えていくことは料理の経験で私にもできると思いました。

「世田谷ものづくり学校」のレストランビジネスデザイン学部に入ったことも大きかったです。ここでビジネスとは何かを学びました。同級生だったモエ・ヘネシー社の方からお仕事もいただきました。酒造メーカーはディスプレイにアクリルをよく使うんです。

丸善丸の内本店の開店記念万年筆パッケージ（写真参照）のコンペでは、マグネットを使ったケースをデザインしましたが、これは立ち上げ時に抱えた在庫を整理するための苦肉の策。日本には当時マグネットを使ったアクリル加工の雑貨はほとんどなかったのです。「TOM PRODUCTS」の名前が知られるきっかけになりました。記念に残るものですね。

—今後はどのような展開を考えられていますか。

友成：下請けは脱却していますが、今後は独自に自社製品をネット販売する方向も考えています。何万個も売れなくてもいい、お客様から離れない価格でいいものを売る。ネット販売のノウハウは大変ですが、こんなときだからこそ、新しい挑戦をしていきたいですね。この時期、守りに入っている企業もあると思いますが、小さい企業は守りきれません。基本はチャレンジ精神、とりあえず前に進みましょう、という気持ち。これまでもそれでやってきたのですから。

—本日はありがとうございました。



世田谷区池尻のオフィスにて。TOM PRODUCTS で手がけた商品を前に。
<http://www.tomproducts.com/>

メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

第17回 新百合ヶ丘の家T邸

所在地：川崎市麻生区
用途：専用住宅
構造：S造
規模：地上2階
設計：高野明美
石井 大
山口尚之
阿部智樹
竣工：2002年3月



新百合ヶ丘の閑静な住宅街に2002年完成したT邸は、「明るいコートハウスを作りたいかった」という建て主のT様が、インターネットを駆使して、設計の先生や施工者とともに積極的に建築材料や設備を選定されました。最近是一般の方もご自身でHPを見て勉強されますが、当時はT様のようにWEBで同等品を探して、さらに足を運んで自分の目で実物を確認される方はそれほど多くありませんでした。「コストをかけるところは、自分が納得してメリハリをつけたかった」とおっしゃるT様のお宅を訪ねました。

一竣工から7年経ち、これまでのメンテナンス状況はいかがですか。
T様：昨年の8月頃から、いろいろと時間をかけて工事を行っています。2階の離れの天井に漏水があって、サッシの上部をはずして交換し、屋上防水工事も行いました。白い外壁の汚れが目立つようになったので再塗装をし、外部のデッキの張替え工事、それから室内の床の再塗装なども行いました。床のオスモカラーは乾くのにかかるとは思いますが、工事中の2日間はホテルに泊まったんですよ。

—それは大変でしたね。自然系塗料は施工に時間がかかりますが、やはり身体にいいものを使いたいというご希望は増えています。1階リビングはサッシの開閉口が大きく、竣工撮影のときにはまだなかった庭の植栽の眺めがとてもきれいですね。

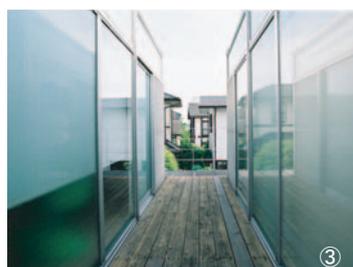
T様：リビングは当初、中央の枠を細くできるスチールサッシも考えましたが、重量とコストが若干かかるのでアルミに落ち着きました。部屋は明るいし冬も暖かいのですが、夏は暑いので、簾を外に張ってみました。ところが内部用の木材だったせいか、すぐにカビが生えてバラけてしまって今度はいい材料のものを探したいですね。ほかに台所の造作家具の金具がただただで開いてしまうようになったので交換しました。建具の細かい調整はその都度やってもらっています。既製品もあるかとも思いますが、

この家で特注でないものはほとんどないですね。私は「基本的によいものを使いたくない」という考えなんです。だからコストも納得がいくまで自分で調べて、設備などでも同等品を探します。探すところも、もちろんただ安くて品質が悪いものもありますが、設計の石井さんや辰の担当者の方も、良いものを探してきてくれました。TOTOやINAX、グローエのショールーム、イデーやピーエスにも行きました。照明は外国製のものデザインがいいですね。日本製のはダウンライトくらいです。ただ外国製品は取り扱い説明書がなかったりいい加減だったりします。浴室の電球は交換方法がよくわからなくて壊してしまい、結局フードごと交換しました。

—T様は生物の先生でいらっしゃるの、環境問題にも気を配っていらっしゃるようですね。

T様：今の日本みたいに皆が一つの方向にのめりこむのは気詰まりです。急に進み始めたソーラーシステム導入促進も、発電は太陽光だけでなく水力や地熱、波力などいろいろあるし、節約はトイレの水を雨水にするとか別の方法もあるから、総体として何を選んでいくかという姿勢が大事だと思います。

—そうですね。本日はありがとうございました。



①1階LDK②南側デッキと庭を臨む③花見テラスと呼ばれる2階デッキ。一部張替えたが、ほとんど以前のものを裏返して張り直している。左側は離れ。来客の宿泊用に使うことが多い。両側サッシの上部の継ぎの部分に押さえ金具を付け、漏水に備える④吹き抜け階段。T様もご家族もタバコを吸わないため、白い壁は現在も竣工そのままの美しさ⑤2階のブルーの洗面ボールはドイツ製。水栓金具はグローエ

TOPICS/INFORMATION

「下馬SK住宅新築工事 上棟式」 4月13日



2世帯のオーナー住宅を持つ賃貸マンションです。

構造：RC造
規模：地上2階
用途：共同住宅
設計：北山恒
/architecture WORKSHOP
完成予定：2009年6月

「自由が丘ビル新築工事 上棟式」 4月16日



地下1階、1階がテナント、2、3階にはオーナーの矯正歯科医院が入る店舗ビルです。

構造：RC造ラーメン構造
規模：地下1階 地上3階
用途：店舗
設計：田井勝馬建築設計工房
完成予定：2009年6月

編集後記

・弊社で施工させていただいた、「松涛TH」の設計者、齊藤祐子氏が「集まって住む『終の住処』」という本を上梓されました。少子高齢化社会の現実を踏まえ、「自分の意思で暮らし続ける知恵と工夫」をご自身の仕事を通してまとめられています。ぜひご覧ください（発行：農文協 定価¥2,800）

